

The Record vol.617

Music enables communication to go beyond languages. This is the reason why some emotions and impressions can be conveyed only through music. Recorded media shoulder the most important role as a vehicle to convey such emotional impressions to people. Despite the changes in the form of music carriers from analog media such as LPs to digital media, its role remains unchanged.

The Recording Industry Association of Japan (RIAJ) contributes toward the healthy development of Japanese culture via various activities including the spread of recorded media and the enlightenment of copyright consciousness.

『違法配信に関する利用実態調査』公表

平成 23 年度事業計画書

3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



Contents

Monthly News Digest.....	1
特 集	
『違法配信に関する利用実態調査』公表.....	3
特 報	
平成 23 年度事業計画書.....	7
公正取引委員会へ 再販弾力運用報告書を提出.....	9
PICK UP	10
私の一枚	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISK.....	14

3/2

IFPI中央理事会開催

3月2日、ニューヨークにおいて、IFPI（国際レコード産業連盟）中央理事会が開催された。

中央理事会は、議長であるフランシス・ムーア会長のほか、4大メジャーレーベルの代表、インディーズ代表（ヨーロッパ、北米、南米、アジアの4地域の代表）、主要地域のIFPI支部の代表らによって構成される会議であり、今回は23名が出席した。当協会からは石坂会長と畑事務局次長が出席した。

会議において時間をかけて議論されたのは、警告を受領しても違法行為をやめない侵害行為者に対するいわゆる「3ストライク制」導入などの法整備に関するテーマであった。既に3ストライク制を導入したフランスや韓国等における運用状況や違法利用の実態の変化、音楽セールスに対する効果などが報告され、今後の導入促進に向けた取り組みなどについて議論された。

当協会からは、著作権法第30条の改正から1年経過後も違法な音楽・映像のダウンロードによる甚大な被害の状況に変化がないため、違法ダウンロード行為に刑事罰を導入する法制度の整備を立法・行政に対して働きかけることを報告した。また、動画共有サイトから大量の不正ダウンロードが行われている実態を報告し、このようなダウンロード行為を支援するウェブサービス等への対策に関する協力を要請した。

その他、全世界のレコード市場の状況やレコード使用料徴収額の推移、EUにおけるレコード保護期間延長の検討状況などが報告され、今後の対応が議論された。日本からも、CDシングルの売行きが好調な日本のレコード市場の

状況や今年度の通常国会に上程される予定の著作権法改正案の概要などについて報告した。

今回の中央理事会は今年11月に東京で開催することが決定され、今後日程調整等を行う予定である。

3/10

北海道警察本部と北海道警察 札幌方面中央警察署に 感謝状を贈呈

3月10日、当協会は、北海道警察本部および北海道警察札幌方面中央警察署を訪問し、音楽ファイルを海外のストレーサイトにアップロードし、権利者に無断で音楽を公開していた事件の捜査に対して、感謝状を贈呈した。

この事件は、愛知県豊田市在住の男性（46歳）が、自動リンク集の無料レンタルサービス「ALINK」を悪用して開設された「曲貼り精鋭達のたまり場」という名称のサイトにおいて、海外のストレーサイト「MediaFire」にアップロードした多数の音楽ファイルへのリンクを自ら設定し、違法配信を行っていたもので、北海道警察本部生活安全部生活経済課および北海道札幌方面中央警察署に2010年3月1日に著作権法違反の疑いで逮捕されていたものである。

この日、当協会の高杉理事・事務局長から一連の捜査に対し、北海道警察本部生活安全部生活経済課長の佐藤邦



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

昭警視および北海道警察札幌方面中央警察署長の政田卓三警視正に感謝状が贈呈された。佐藤警視および政田警視正は、悪質な著作権侵害行為の撲滅に、今後も積極的に取り組んでいくことを表明された。

東北地方太平洋沖地震 被災地へのお見舞いについて

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
当協会は被害を受けられた地域の皆様へのお見舞い、ご支援として、中央共同募金会を通じて300万円の寄付を実施致しました。
被災者の皆様のご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

富塚勇氏 逝去

元ビクターエンタテインメント株式会社会長の富塚勇氏が、3月25日に逝去されました。

富塚氏は、1995年ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役社長に就任、1998年からは代表取締役会長を務められました。

当協会におきましては、2000年4月から2003年2月まで会長を務められ、業界発展のために、多大なるご尽力をいただきました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

「日本のレコード産業 2011」発行

当協会は、「日本のレコード産業 2011」を発行しました。本誌は、2010年のレコード産業の概要を網羅したA4判28頁の小冊子で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上等を幅広く掲載しています。なお、本書の英語版「RIAJ Yearbook 2011」は近日中に発行予定です。本誌のPDF版については、当協会ホームページ(<http://www.riaj.or.jp/>)をご覧ください。



◆◆当協会事務局人事◆◆

■ 昇格 (4月1日付)

楠本 靖

法務部副部長(コンプライアンス担当兼務)
(前:法務部課長(コンプライアンス担当兼務))

■ 異動 (4月1日付)

赤塚祐一郎

管理部人事・総務グループ担当課長
(前:企画部担当課長)

阿部三和子

管理部経理グループ係長
(前:管理部付JMG出向)

三上 力

法務部係長
(前:管理部付JMG出向)

新屋泰造

企画部課長補佐
(前:管理部付VIPO出向)

■ 入社 (4月1日付)

江頭由美子

法務部

松下結香子

企画部

◆◆会員社のお知らせ◆◆

■ 社名変更 (3月1日付)

新社名:株式会社ジェイワン
(旧:CAMエンタテインメント)
※住所、電話番号は変更なし

■ 会員区分変更 (4月1日付)

社名:ロードランナー・ジャパン株式会社
準会員 → 賛助会員

RIAJ2011年3月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成23年度事業計画書(案)及び平成23年度収支予算書(案)の件
2. 第26回日本ゴールドディスク大賞の予算措置について
3. RIAJ集中管理事業の範囲変更に伴う規程類改定について
4. 放送二次使用料実績分配への移行に伴う規程類改定について
5. 「音楽市場環境整備タスクフォース」の設置期間延長の件

■ 報告事項

1. 法制委員会関係報告
(1) 私的録音録画補償金に関する文化庁・経産省の動きについて
2. 情報・技術委員会関係報告
(1) 携帯専用サイトのクローリングに関する総務省調査研究事業の進捗について
3. マーケティング委員会関係報告
(1) 需拡施策(CDショップ大賞・大人の音楽・高音質/高品質CD)について
(2) リアルショップ活性化施策について
4. その他報告
(1) 「東北地方太平洋沖地震」義援金の拠出について
(2) 使用料の分配予定について
(3) 会員社資格変更の件(ロードランナー・ジャパン(株))
(4) IFPI中央理事会報告
(5) 日本音楽家ユニオンとの協議について

『違法配信に関する利用実態調査』公表

当協会は、近年増加を続ける音楽や音楽ビデオクリップなどの違法な配信の利用実態を把握し、今後の効果的な対応策の検討材料とすることを目的に「違法配信に関する利用実態調査」を2010年8月に実施した。

今回の調査は、パソコンと携帯電話における違法ファイルなどの利用状況を調べており、特徴として、動画配信サイトからのダウンロードの利用率が29.6%、認知率が68.1%と、いずれもP2Pファイル共有ソフトやその他のパソコンサイト、携帯電話向け掲示板サイトなどよりも高い割合を占めていることが挙げられる。

また、違法ファイル等の^(※1)推定ダウンロード数は43.6億ファイルであり、正規有料音楽配信の2010年ダウンロード数4.4億ファイルのおよそ10倍である。また、これを正規音楽配信の販売価格に換算すると^(※2)6,683億円となり、正規音楽配信の2010年間売上860億円のおよそ8倍に相当する。

※1：違法ファイル等の推定ダウンロード数は、「日本の人口」（平成17年国勢調査より）に「ダウンロード利用率」および「平均ファイル数」（いずれも当協会2010年8月調査）を乗じて、年代・形態別に算出した。

なお、この推定ダウンロード数には、違法ファイルのダウンロードのほか、閲覧のみが許可されているレコード会社の公式ストリーミングサイト等からの不正ダウンロードを含む。

※2：正規音楽配信の販売価格は、当協会の有料音楽配信統計（2010年1月～2010年12月期）平均単価データに基づき算出した。

報告書をご希望される方は、当協会ホームページ（URL: <http://www.riaj.or.jp/>）よりダウンロードされるか、当協会広報部までお問い合わせください。

調査概要

◇ 音楽メディアユーザー調査

調査期間：2010年8月10日～16日
調査対象者：12～69才男女（中学生は親の代理回答）
調査方法：インターネットアンケート調査

性年代	数	性年代	数
男性 中学生	216	女性 中学生	256
男性 高校生	333	女性 高校生	333
男性 大学生	400	女性 大学生	372
男性 20代社会人	313	女性 20代社会人	314
男性 30代	314	女性 30代	310
男性 40代	312	女性 40代	316
男性 50代	312	女性 50代	314
男性 60代	317	女性 60代	314
計	5,046		

（注）ウェイトバック集計について：実際の人口構成は年代によってバラつきがあるため、人口構成比に合わせるために係数をかける、「ウェイトバック」と呼ばれる統計手法を用いる。

◇ 違法配信に関する調査

調査期間：2010年8月31日～9月6日
調査対象者：12～59才男女
2010年8月10日～16日に実施した音楽メディアユーザー実態調査において、違法ファイルのダウンロードを経験した対象者を抽出。

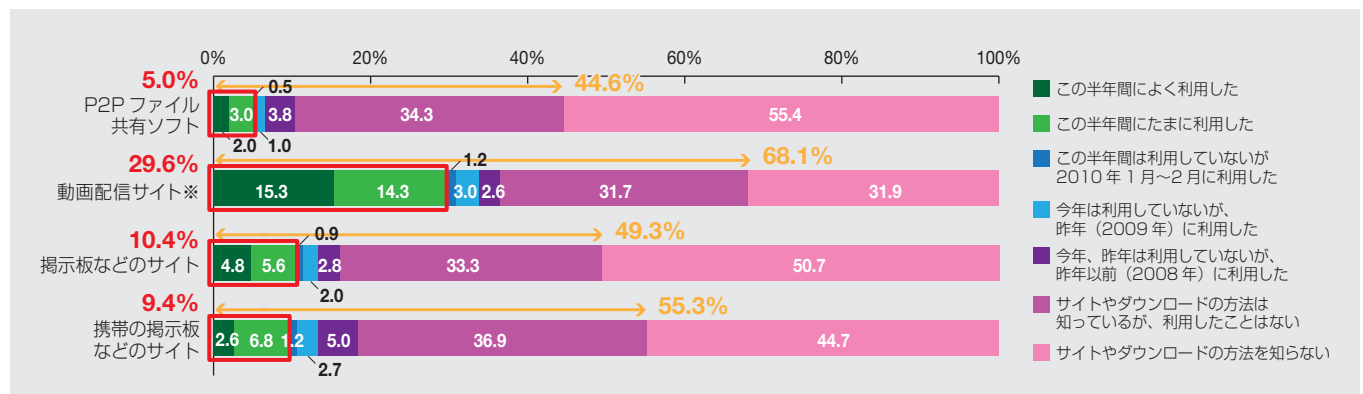
調査方法：インターネットアンケート調査

対象者	目標数	回収数
ファイル共有ソフト利用者	250	235
無料動画サイト利用者	250	258
掲示板などのサイト利用者	250	259
着うた・着うたフル・着ムービー無料利用者	250	259
過去経験者	200	206
計	1,200	1,217

（注）上記の人数は、調査の対象者としての割り付け目標数とその回収数を示し、調査結果後の各セグメントの人数とは異なる

違法ファイル等の利用・認知状況

動画配信サイトから音楽をダウンロードしている利用者の割合は29.6%、認知率は68.1%と最も高い。パソコンにおける掲示板やブログなどファイルを共有できるサイトからのダウンロードの利用率は10.4%、認知率は49.3%となっている。



■ 楽曲ファイルと動画ファイルそれぞれについて質問しているので、いずれか該当すれば、その項目に該当するとした。

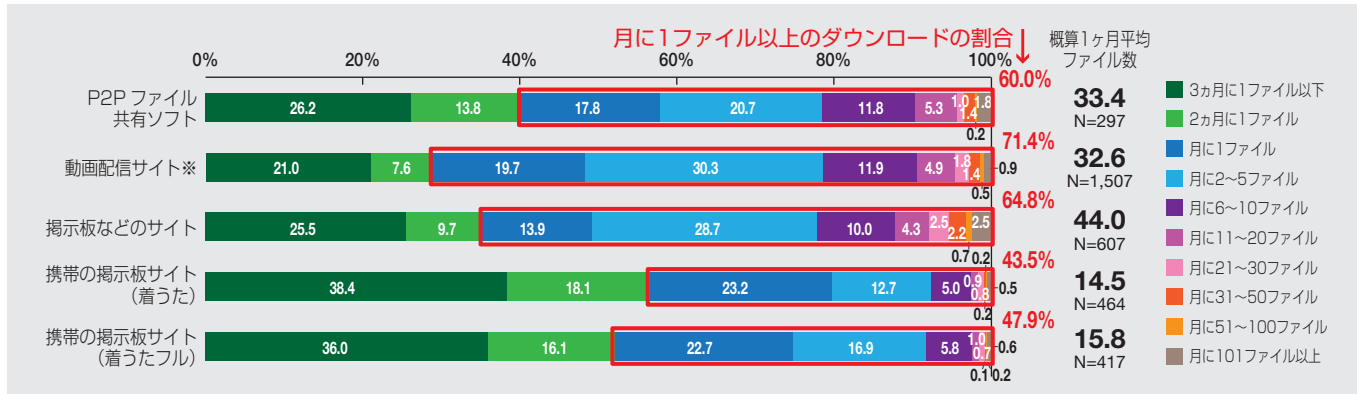
出所：音楽メディアユーザー調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

(N=5,046)

違法ファイル等の推定ダウンロード数

楽曲ファイル（着うた、着うたフル含）のダウンロード数

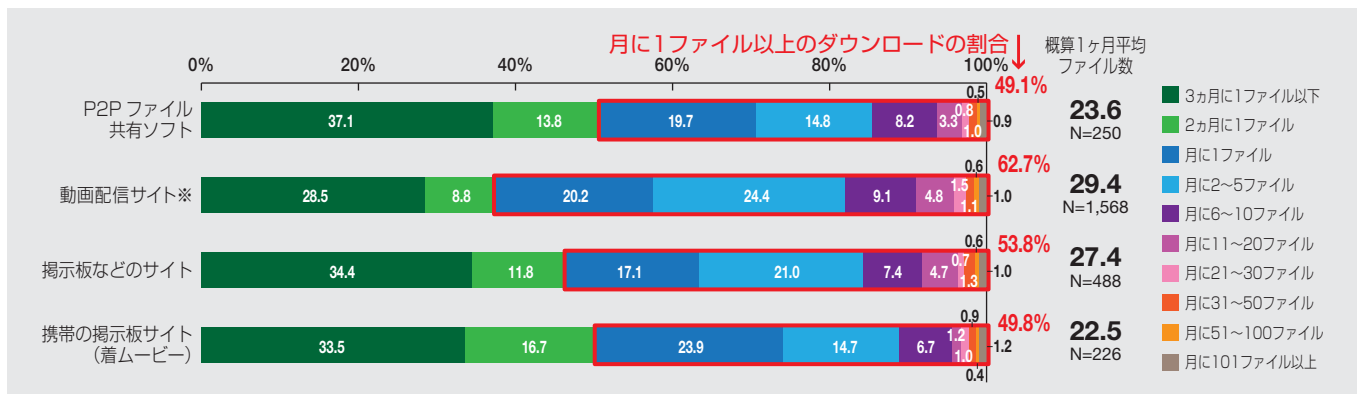
利用方法別の1カ月あたりの平均ダウンロードファイル数は、P2Pは33.4ファイル。動画配信サイトは32.6ファイル、パソコンの掲示板などのサイトは44.0ファイル、携帯は着うたが14.5ファイル、着うたフルは15.8ファイル。



出所：音楽メディアユーザー調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

動画ファイルの不正ダウンロード数

利用方法別の1カ月あたりのダウンロードファイル数は、P2Pは23.6ファイル。動画配信サイトは29.4ファイル、パソコン上の掲示板サイトなどは27.4ファイル、携帯は着うたが22.5ファイル。

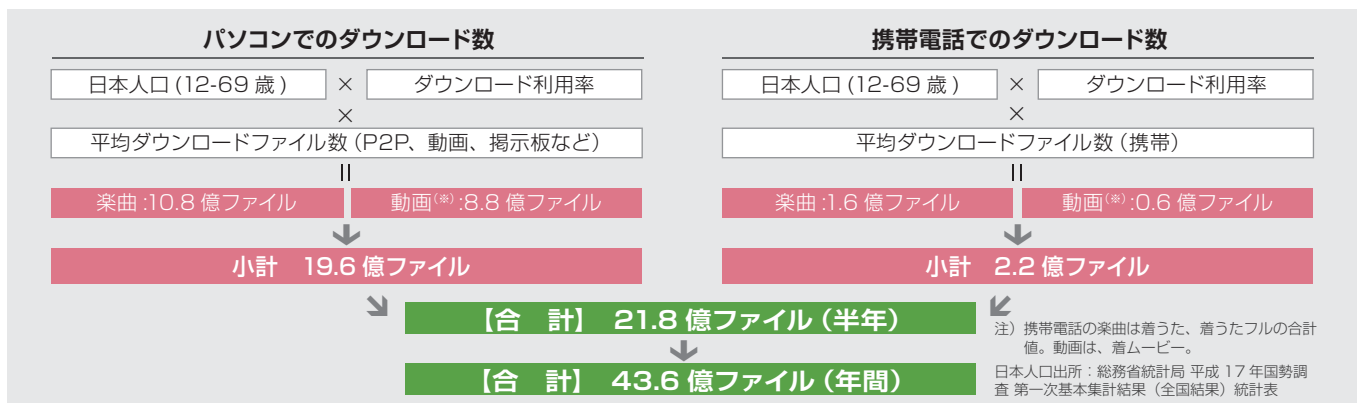


出所：音楽メディアユーザー調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

合計

パソコンにおける違法ファイル等の推定ダウンロード数は、半年間で、19.6 億ファイル。

携帯における違法ファイル等の推定ダウンロード数は 2.2 億ファイル。パソコン・携帯の合計は 21.8 億ファイル。年間のダウンロードファイル数は 43.6 億ファイルとなる。

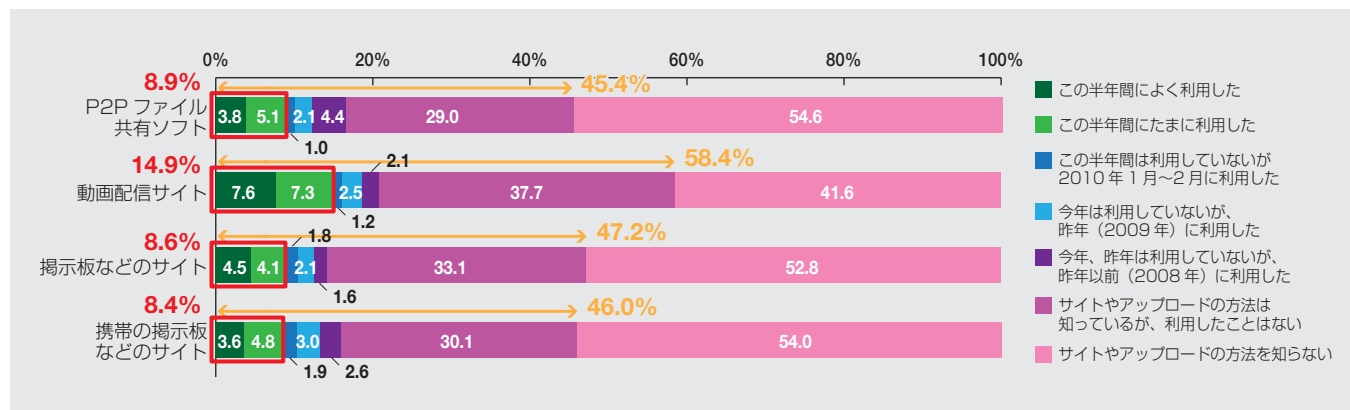


出所：音楽メディアユーザー調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

違法ファイルのアップロード状況

楽曲、動画ファイルのアップロード状況

動画配信サイトでのアップロードが、他のアップロード方法に比べて利用率が 14.9%、認知率も 58.4% と高かった。他の方法のアップロード利用率は約 8 ～ 9% で、認知率も約 45 ～ 47% であった。

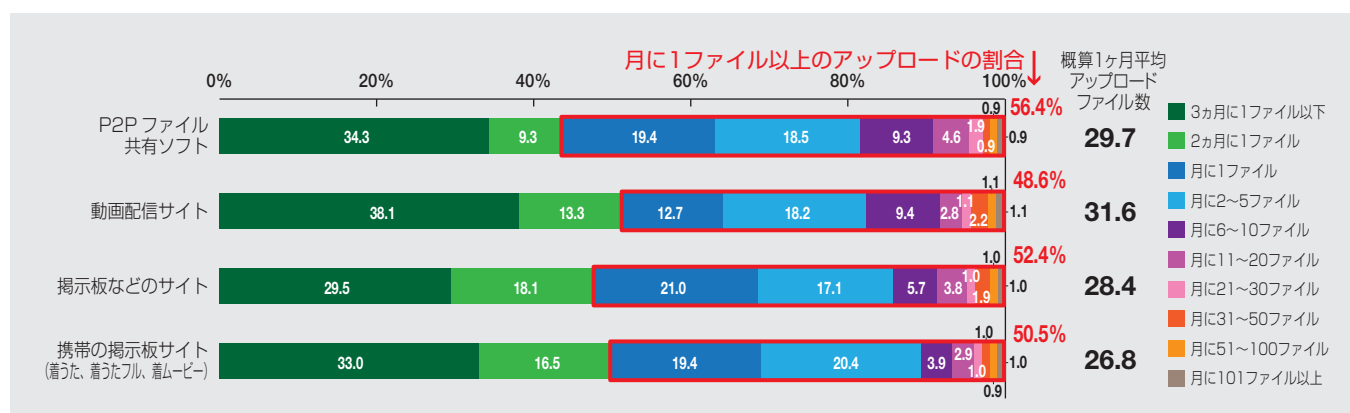


出所：違法配信に関する調査

(N=1,217)

楽曲、動画ファイルのアップロード数

1カ月間に違法配信を利用したアップロード数はおおよそ 30 ファイル。動画配信サイトへのアップロードが最も多く 31.6 ファイル。また月に 1 曲以上アップロードしている人の割合はファイル共有ソフト利用者が最も多く 56.4% である。



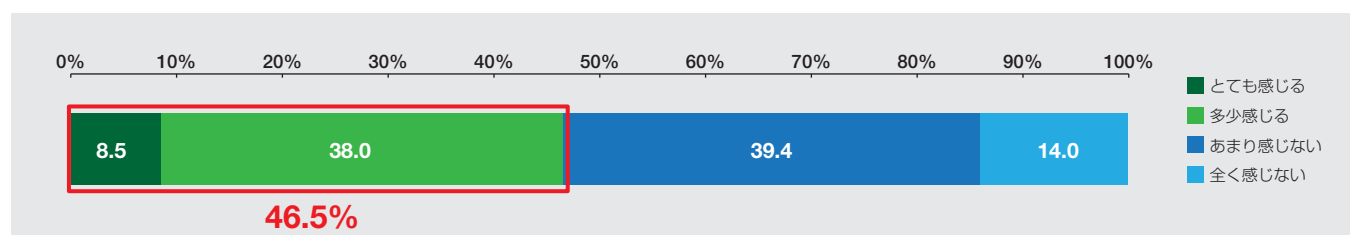
出所：違法配信に関する調査

(N=1,217)

違法ファイル等の利用意識

違法ファイル等※のダウンロードに対する後ろめたさ

違法ファイル等ダウンロードの利用者・経験者で、利用する事に後ろめたさを感じる人の割合は 46.5%。



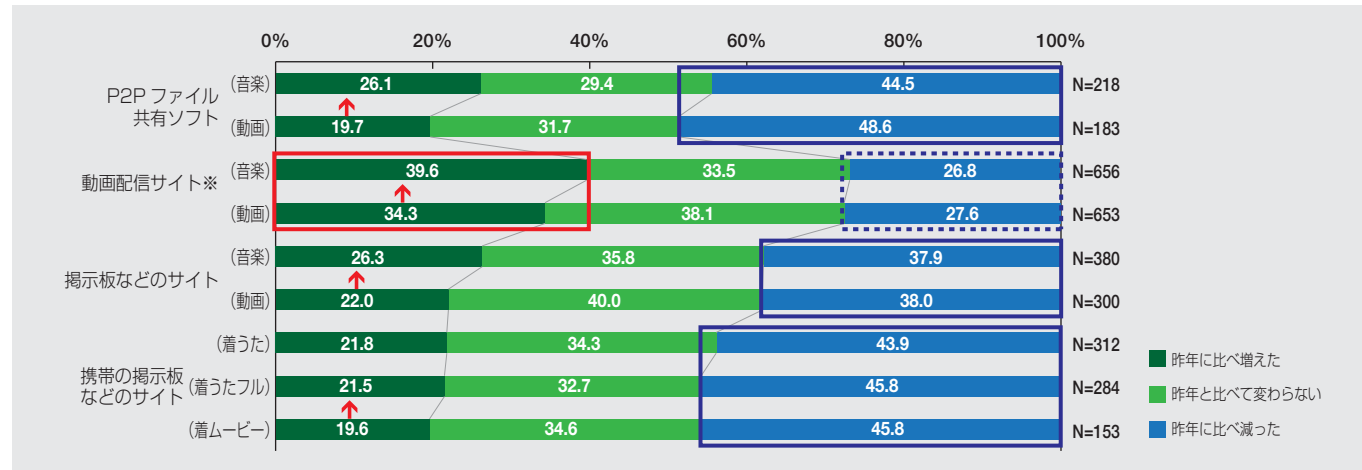
出所：違法配信に関する調査

※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

(N=1,217)

昨年度と比べたダウンロードファイル数の変化

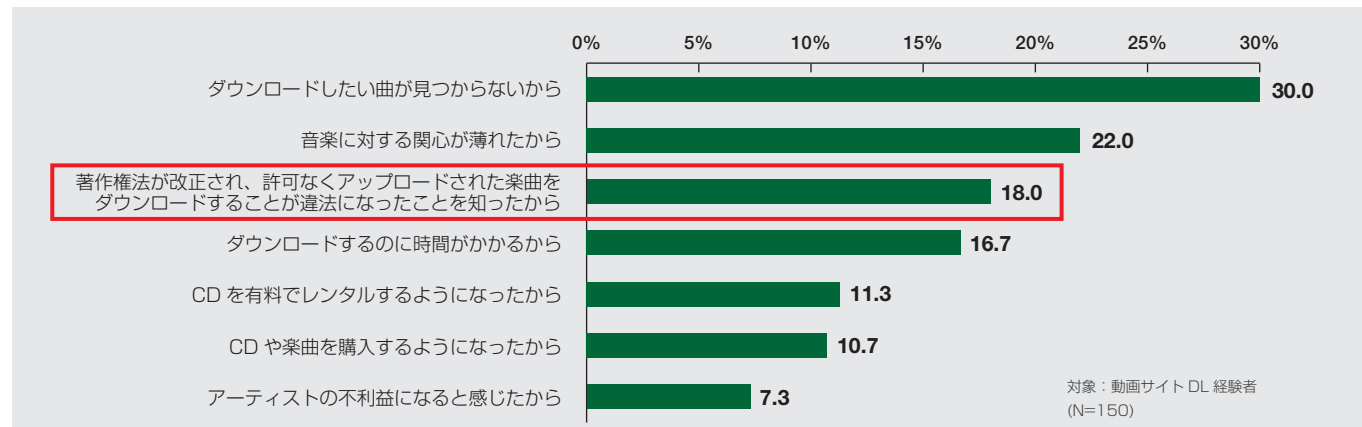
いずれのダウンロード方法も、昨年度に比べ動画ファイルより楽曲ファイルの方がダウンロード機会が増えた人の割合が高かった。また、動画配信サイトからのダウンロード機会は、増えた人の割合が減った人の割合より高かったのに対し、その他のダウンロード方法は減ったと答えた人の割合の方が高かった。



出所：違法配信に関する調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

動画配信サイトから楽曲ファイルをダウンロードするのをやめた理由

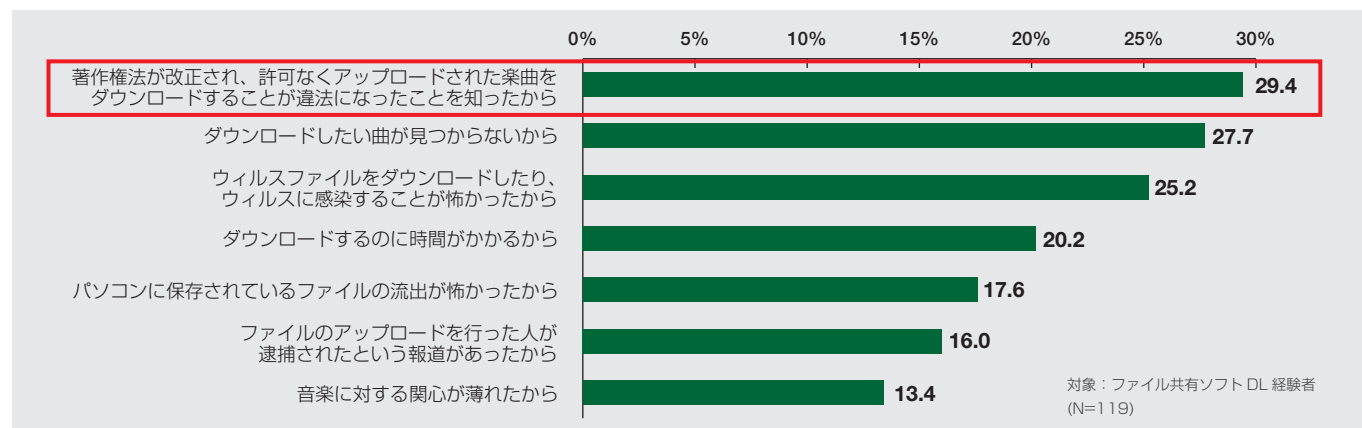
動画配信サイトからの不正ダウンロード利用停止者の約 2 割が、著作権法の改正を理由として挙げている。



出所：違法配信に関する調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

ファイル共有ソフトを使用して楽曲ファイルをダウンロードするのをやめた理由

P2P ファイル共有ソフト利用停止者の約 3 割が、著作権法の改正を理由として挙げている。



出所：違法配信に関する調査 ※ストリーミングサイトからの不正ダウンロードを含む

平成 23 年度事業計画書

平成 22 年のレコード等の生産・販売実績は、長引く経済不況の影響などにより、一昨年に続き前年を下回る結果となった。また、レコード産業成長の最大の阻害要因であるインターネット上の違法音楽配信や動画共有サイトからの不正ダウンロードの蔓延等の影響を受けた有料音楽配信実績の前年割れなど、レコード製作者を取り巻く環境はますます厳しい状況となっている。

しかし、一方では、アイドル人気の沸騰によるシングル CD 販売の回復や 4 年ぶりのミリオンヒットシングルの出現、「大人の音楽」のレコード需要の増大やアニメ音楽の隆盛など、レコード市場の活性化に向けたプラス要因も見られる状況にある。

このような現状を踏まえ、当協会は、平成 23 年度において、攻めと守りの両面により一層実効性のある施策を講じる。具体的には、平成 22 年度に打ち出した 8 項目の重点施策（①「違法音楽配信の撲滅」、②「需要拡大施策の展開」、③「レコード製作者の権利収入の拡大と適正な分配」、④「レコード製作者の権利の確保、強化」、⑤「シェアードサービスの拡大」、⑥「著作権教育・啓発活動の充実」、⑦「シンクタンク機能の充実」及び⑧「音楽文化の維持、発展のための施策」）を更に強化するとともに、以下の事業に取り組むことによってレコード産業の基盤の整備・強化を図る。

【事業活動】

【1】レコードの普及に関すること

1. 「音楽 CD の再販制度」の維持

- (1) 再販制度の弾力運用を更に推進するとともに、音楽文化発展の基盤となる再販制度の必要性を引き続き訴える。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを年 1 回開催する。

2. レコードの需要拡大施策の展開

- (1) 「CD ショップ大賞」の一層の充実・強化を図るため、第 4 回大賞の具体的内容に関する実行委員会の検討を踏まえた支援を行い、店頭における音楽パッケージの需要を喚起する。
- (2) 「大人の音楽」のレコード需要を促進するため、キャンペーン実施等の積極的な施策を実施する。
- (3) 高音質・高品質を訴求するパッケージ商品の販売促進に資する施策を実施する。

3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

音楽業界で唯一の実績数字に基づく顕彰制度である「日本ゴールドディスク大賞」の認知を通じて、音楽文化の維持・発展を図る。

4. 「着うたフル ⑧」ウィークリーチャートの活用

「着うたフル ⑧」ウィークリーチャートの活用を促進し、音楽配信市場の拡大を図る。

5. 日本音楽の海外展開の促進

- (1) 海外への日本音楽のライセンスアウト拡大に向け、音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催の「東京国際ミュージックマーケット」(TIMM)に積極的に参画し、成約実績と実ビジネス実績の拡大を図る。
- (2) コンテンツ海外流通促進機構(CODA)及び関係官庁との連携により海外における日本音楽の海賊版対策を強化する。
- (3) 海外における配信ビジネス確立のための諸条件整備、アーティスト同行による海外イベント開催などについて検討する。

6. 大学寄附講座の開設

平成 23 年度は、横浜国立大学に寄附講座を開設する。

7. RIAJ セミナーの開催

会員社を対象に原則として毎月 1 回開催するとともに、一部テーマについては広く一般にも公開する。

8. その他

“Music J-CIS” (Music Japan-Copyright Information Service) の構成団体として、音楽権利情報データベースの充実を図る。

【2】レコードに関する調査研究および資料の蒐集に関すること

1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品及び音楽配信に関する各種産業統計データの的確な集計・分析を行い迅速に公表する。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

26 年目を迎える「音楽メディアユーザー実態調査」を継続実施するとともに、レコード産業が直面する課題や将来の市場予測に資する内容の調査を実施する。

【3】録音による芸術文化の保存に関すること

1. 歴史的音源のアーカイブ事業の推進

国立国会図書館のデジタルアーカイブにおける保存及び今後の利活用に向け、歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC) を中心に SP 盤等の音源デジタル化作業を継続する。

2. 「文化庁芸術祭」への協力

レコード部門における受付窓口として、選考申請及び審査に協力する。

3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

録音エンジニアの技術向上と地位確立を目指し継続実施する。

【4】著作権・著作隣接権等に関すること

1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 動画共有サイト、携帯電話向けサイト、ストレージサービスなどにおける違法音楽配信の探索、削除要請等を一層強化する。
- (2) 他の音楽権利者団体及び携帯電話事業者との協力により、アクセス制限を施した携帯電話専用サイトに対する違法音楽ファイルの探索を実施し、青少年向けフィルタリング、削除要請等を更に強化する。また、より効率的な探索方法への移行を図るため、具体的な技術検討を実施する。
- (3) 携帯電話向け掲示板事業者などに対する自主監視等の要請を更に進める。
- (4) 悪質な違法行為者の告訴等を継続して実施する。
- (5) 動画共有サイトからの不正ダウンロードを支援するサービスやソフトへの対策を講ずる。
- (6) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」(CCIF) の取組みに継続参加し、違法行為者に対する啓発メールによる注意喚起活動を強化する。

- (7) ファイル共有ソフトを悪用した違法行為者のうち特に悪質性の高い者に対する損害賠償請求や告訴等の対応を強化する。
- (8) スマートフォンを用いた違法音楽配信の利用実態を把握し対策を講ずる。
- (9) 携帯電話端末における技術的対策の実施について、「違法音楽配信対策協議会」(CAMP) で継続検討する。
- (10) 検索エンジン非表示対応の実施について、事業者との協議を継続する。

2. 違法音楽配信を撲滅するための法整備の推進

- (1) 発信者情報開示請求に基づく悪質行為者への損害賠償請求等を迅速に進めるため、プロバイダ責任制限法の見直しを関係省庁に働きかけるとともに、発信者情報開示請求関係ガイドラインに開示請求手続きの簡素化等を盛り込む活動を促進する。
- (2) 違法な音楽・映像のダウンロードに対して高い抑止効果を発揮する新たな法整備を求める活動を強力に推進する。

3. 「違法配信からのダウンロード違法化」等の広報活動の実施

- (1) 違法音楽配信問題に関する広報、改正著作権法第30条の周知及び適法配信識別マーク(エルマーク)の認知拡大を図るため、啓発キャンペーン等の広報活動を強化する。
- (2) 関係他団体、他業種との連携による広報強化策を検討し実施する。

4. 著作権教育活動の実施

他団体、企業等との連携等により、若年層への著作権教育の機会を増大するなどの取組みを強化する。

5. 「私的録音録画補償金制度」の見直しを求める活動

私的録音録画補償金制度を録音録画の実態に合わせた制度とするために、他の権利者団体等と連携して活動を行う。

6. レコードの業務上の利用から適正な対価が還元される制度創設に向けた活動

実演家団体と合同で制度創設に向けた行政への働きかけを進める。

7. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動

EUにおける「レコード保護期間」延長の動向を踏まえながら、少なくとも70年への保護期間延長に向けた活動を継続する。

【5】レコードに関する出版物の刊行等

レコード産業への理解促進と産業全体のイメージ向上を図るため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広く広報を行う。

【6】レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収及び分配

1. 二次使用料収入確保のための検討

放送収入が減少傾向にある中で、安定的に二次使用料収入を確保するための新たな二次使用料算出方式の検討を行い放送事業者との間で具体的な提案に基づく協議を行うとともに未契約事業者の解消に努める。

2. 二次使用料実績分配の運用開始

- (1) 平成23年度末の二次使用料の実績分配開始に向けて分配規程を改定し、新たな運用ルールを委任者に周知する。
- (2) 実績分配にかかる以下の実務運用を安定的に取り進める。
 - ・各放送事業者からの全曲・電子的報告の円滑な受領と諸問題の解決
 - ・報告を受けたレコード使用実績データの効率的な照合と分配先権利者の特定
 - ・正確な分配金額計算業務
- (3) システムによる自動照合率の向上を図るため、必要な施策を実施する。
- (4) 実績分配のキーコードとなるISRCの精度向上のため、誤付番を「0」にするよう各社の確認作業を促進する。

【7】レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収及び分配

1. 平成24年度からの貸レコードに係る使用料等の分配方法変更に向けて、分配規程の改定と実務運用の検討を完了する。

2. 分配方法の変更に伴う会員社における計算業務の効率化と負担軽減を図るため、会員社のニーズを踏まえたシステム開発を行う。

【8】私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配

社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)及び社団法人私的録画補償金管理協会(SARVH)の構成団体として、私的録音録画補償金制度の円滑な運用を推進する。

【9】その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の具中を行う。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体並びに国際レコード産業連盟(IFPI)及びアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を積極的に推進する。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

レコード制作者としての社会的倫理責任を果たすため、「レコード制作基準」に則り「レコード倫理審査会」を開催・運営する。

4. 業界規格(RIS)の制定と改正

CD等レコード商品の表示、付属品等に関する日本レコード協会規格(RIS)について必要な改正を行う。

5. 「ISRC」(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

音源の識別に利用される「ISRC」(国際標準レコードディンクコード)の国内管理登録機関として、普及・管理に関する活動やコードの申請受付・交付等を行う。

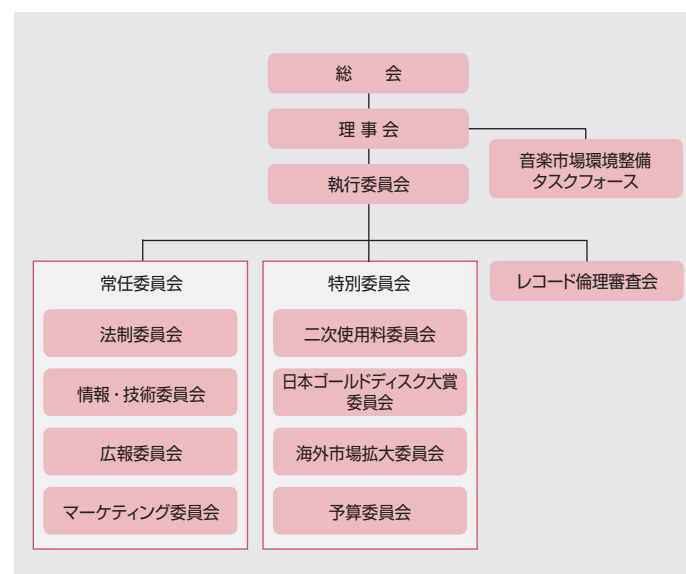
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

福祉厚生・療養施設(児童福祉施設、老人ホーム等)の方々に音楽を楽しんで頂く事を目的として昭和38年(1963年)から毎年実施しているレコード寄贈を平成23年度も継続する。

7. 会員社業務の集約化(シェアードサービス)

会員社業務の効率化と負担軽減を図るため、集約化が考えられる業務に関する会員社ニーズを把握し、課題の整理を行う。

〔運営体制〕



本年度の事業遂行のため、関係諸官庁並びに関係諸団体と常に連絡協調を保持しつつ業務を推進する。

公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出

3月30日、当協会は2010年12月31日時点のレコードメーカーによる「音楽用CD等の再販制度の弾力運用の状況について」を取りまとめ、公正取引委員会に提出した。機関誌では報告を抜粋して掲載する。なお、全文は当協会ホームページで公開。（<http://www.riaj.or.jp/>）

1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

(1) 時限再販期間の短縮について

レコードメーカー各社は1998年以降時限再販期間の短縮に取り組み、現在再販期間は1年または6ヶ月となっている。

(2) 時限再販期間経過後商品の値引きについて

店頭値引きセールは恒常化している。

(3) 非再販商品の発売と値引き販売について

非再販商品の発売タイトル数は微減であったが、全CD新譜数に占める割合は増加した。

全CD新譜は14,023タイトルと、前年(2009年17,914)より大きく減少した。うち、非再販CDのタイトル数は1,182タイトル(2009年1,093)と微増であったが、CD+DVD商品は1,587タイトル(2009年1,688)と、タイトル数を減らしている。結果、非再販CD、CD+DVD商品合計で2,769(2009年2,781)タイトルが非再販で発売され、全CD新譜数の19%(2009年16%)を占めている。

(4) インターネット廃盤セールの実施

1992年度から毎年実施しており、好評を得ている。

名 称：2011新春レコードファン感謝祭

～廃盤CDディスカウントセール～

日 程：2011年1月14日(金)～1月28日(金) 15日間

出品商品：種類約2,800タイトル、総数約33,000枚

廃盤は発売時定価の70%引きで販売。

(5) 価格表示方法の変更について

商品が非再販となっているか否かを認知しやすい方法に変更している。

2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

アルバムの年間平均小売価格は、1,880円と昨年2,018円より138円低下した。各レコードメーカーは低価格化に積極的に取り組んでいる。なお、2001年当面存置決定当時の2,399円対比では約22%低下している。

3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

従来からメーカー各社が自らの判断で決定しており今後も同様である。

4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカードは消費者サービスの一環として定着している。

5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化

メーカー各社は、通販・直販等流通ルートの多様化に積極的に取り組んでおり、多様な価格設定が行われている。また、今まで音楽用CDを販売していなかった業態への新規開拓を強化し、クロスマーチャンダイジング等により消費者の満足を高める施策が実施されている。

6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害はない。

7. その他

レコードメーカー、販売店、有料音楽配信サイトでは、CD音源の無料試聴サービスを実施している。また販売店においては、高速大容量配信ネットワーク型の音楽検索試聴システムを導入しており、現在945店に3,746端末が設置されている。バーコード検索により249万曲の試聴が可能となっている。

レコード業界は、音楽用CD等の再販制度について国民から引き続き理解が得られるよう、今後も消費者利益の向上を目指し、音楽用CD等の企画の多様性の確保、流通の合理化などの改善に積極的に取り組んでまいります。

以上



PICK UP

今月のニュース・ピックアップ



「動画サイトからのダウンロード実態調査検討委員会」設置について

今月号で特集した「違法配信に関する利用実態調査」によると、動画サイトを利用して音楽や音楽ビデオクリップなどをダウンロードしている割合は29.6%、認知率は68.1%と最も高いことが判明した。

これらの状況を受け、動画サイトからのダウンロードについてさらに詳細な調査を行い、その実態を明らかにすることを目的とし、「動画サイトからのダウンロード実態調査検討委員会」が設置された。

本委員会は、学識経験者、ユーザー代表、プロバイダおよび官公庁のメンバーによって構成され、さまざまな角度から調査の手法や結果の検討・検証を行い、調査を実施する。(委員メンバーは下記参照)

■ 調査の手法

郵送アンケート調査(10代～60代男女)

WEBアンケート調査(10代～60代男女)

■ 委員名簿

委員会役職他	所属法人名	所属部署及び役職	氏 名
委員	東京大学	新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 メディア環境学 教授	濱野 保樹
委員	東京大学	大学院新領域創成科学研究科 准教授	鎗目 雅
委員	特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟	専門委員	高野 ひろみ
委員	Think C (三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社)	文化政策研究者	太下 義之
委員	ヤフー株式会社	法務本部ネットセキュリティ企画室長	吉田 奨
委員	株式会社ニワンゴ	代表取締役社長	杉本 誠司
委員	一般社団法人日本レコード協会	アドバイザー	寺崎 圭太郎

【オブザーバ】

総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課

文化庁 長官官房著作権課

経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課

消費者庁

次回委員会

日時：2011年4月15日(金) 15:00～17:00

場所：大手町ラーニングルーム

千代田区大手町1-1-3 大手町センタービルB1F

なお、本委員会は一般の方も傍聴することができます。詳細につきましては、当協会HP (<http://www.riaj.or.jp>)においてお知らせ致しますので、ご希望の方はHPをご覧ください。



CODA ファイル共有ソフト利用実態のアンケート調査結果

一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）は、当協会を含む下記団体の協力を得て、ファイル共有ソフトによる知的財産権侵害の実態などを把握することを目的としたインターネットアンケート調査を2011年11月22日～29日に実施し、この度調査結果を取りまとめた。

本調査は「中学生・高校生」と、中学生・高校生を除く「15歳以上」とに対象を2つに分けて実施し、ファイル共有ソフトの「現在利用者」は、両者ともに「5.8%」という結果となった（参考：2009年度9.1%、2008年度10.3%）。利用率低下の要因については、「中学生・高校生」「15歳以上」とともに、コンピュータウィルスの感染や情報流出への心配などが、大きな要因となっていることが推測される。また著作権侵害に関する問題意識も、ファイル共有ソフトの利用をやめた理由としてあがっており、利用率低下の要因につながっていると推測できる。

また、ファイル共有ソフトを利用をやめた理由として、動画投稿サイトなどの利用をあげる層も一定割合存在していることから、これらのサービスの普及がファイル共有ソフトの利用率に影響を与えていることも考えられる。

動画投稿サイトなどの利用状況については、「15歳以上」と「中学生・高校生」とともに、9割を超える人が「YouTube」を認知しており、「中学生・高校生」では、98.6%が実際に「YouTube」を見たことがあると回答している。また、本来ストリーミング視聴が中心である動画投稿サイトからファイルをダウンロードした経験があるのは、「15歳以上」で39.5%、「中学生・高校生」では46.2%に上ることも判明した。

改正著作権法の施行については、ファイル共有ソフトの現在利用者ベースで、「詳しい内容まで知っていた」のが、「15歳以上」で13.2%であるのに対して、「中学生・高校生」では19.8%と、「中学生・高校生」の認知度がやや高い傾向が見られた。その一方で、ファイル共有ソフトの利用への影響については、「中学生・高校生」の41.9%が「今後も今まで通り使うと思う」と回答しており、「減る／減らしたい」が45.7%を占めた「15歳以上」とは、大きな差が見られた。

なお本調査は、CODAの団体会員等である以下の各団体からの協力を得て実施されました。
社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会／一般社団法人日本映画製作者連盟／社団法人日本映像ソフト協会／一般社団法人日本動画協会／社団法人日本民間放送連盟／一般社団法人日本レコード協会／日本国際映画著作権協会

本アンケートの調査結果は、CODA ホームページからダウンロードできます。
<http://www.coda-cj.jp/news110204.html>

■アンケート調査結果（抜粋）

1. ファイル共有ソフトの利用状況

	現在利用者※1	過去利用者※2
15歳以上	5.8%	12.9%
中学生・高校生	5.8%	4.8%

※1「現在利用者」は、2009年11月以降にファイル共有ソフトを利用したことのある者。

※2「過去利用者」は、2009年10月以前にファイル共有ソフトを利用していた者。

2. 著作権法改正（ダウンロード違法化）の認知とファイル共有ソフトの利用意向

	詳しい内容まで知っていた	今後の利用意向		
		今まで通り	減る／減らしたい	やめたい
15歳以上	13.2%	25.3%	45.7%	29.1%
中学生・高校生	19.8%	41.9%	37.7%	20.4%

調査形式：パソコン・モバイルによるアンケート調査

期 間：2010年11月22日（月）～11月29日（月）

有効回収数：(1) 15歳以上のインターネットユーザーを対象とした調査

スクリーニング調査…39,245 サンプル 本調査…2,280 サンプル

(2) 中学生・高校生のインターネットユーザーを対象とした調査

スクリーニング調査…8,746 サンプル 本調査…504 サンプル

私の一枚



稲垣博司

一般社団法人 日本レコード協会
副会長
(エイベックス・マーケティング株式会社
代表取締役会長)

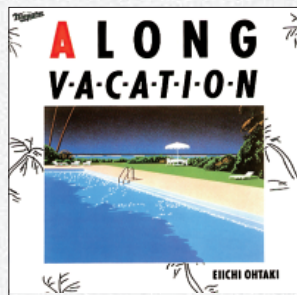
●「A LONG VACATION」

(大滝詠一)

この度の東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

数年前に「オリコン」誌上で同様の企画があり、その時は「ポリス」最後のアルバム「シンクロニシティ」を選んだ。今でも私にとって引き続き素晴らしい一枚だが、今回は国内盤の中からJ-POP史上屈指の名作、大滝詠一「A LONG VACATION」を選びたい。

今までこの企画で誰も採り上げなかったことが、私には不思議な気がする。



1981年発売のこのアルバムは、累計300万枚以上の売上を誇る。当時CBS・ソニーの宣伝のボスとしてこの作品に携わることができたことは、我が音楽ビジネスの中でも、極めてラッキーな出来事であった。担当ディレクターから完パケテープを聴かされた時、自分が地方の高校から東京の第一志望大学に入学が決まった時の気持ち、自分も遂に都会人になれるのかという満足感、そんな感想を先ず持った。

けだるく、セクシーで、都会的でゴージャスな「フィル・スペクター」テイストのサウンド。クラシックの名評論家、吉田秀和氏のこの作品に関する批評文を読みたいと思うが、恐らく彼ほどの表現者でないと正しい感想文、評論は書けないと思う。

それにしても、この作品への参加“アルチザン”達の同一性 — シンクロニシティ — は一体何処から来るのだろう。天才達の豊かな才能には、少しも張り詰めていない、嫉妬すら覚える、ゆったりとした余裕が深く感じられる。

全作品総て完璧の出来栄であるが、私にとっての最高作は、8曲目「恋するカレン」である。気障な表現を借りれば、目眩するほどのシンクロニシティを感じる。男には大体誰でも美少女に片想いをした経験があるように、この作品にはクリエイター達の、その痛かった経験を強く感じる。その遠い記憶は、いまは甘いシロップで包まれているが、このシロップが溶けた時、一方的に激しく傷ついた自分の心の傷が疼く。ああ、あの時、今のヒネコけた厚かましさがあれば自分の気持ちは通じただろうにと。

私はこの作品を、その頃まだ珍しかった「ウォークマン」で色々な人に聴かせた。業務上の人、プライベートな人、それぞれから絶賛を受けた。

プライベートでは当時少し知っていた慶応の美人大学生にも聴かせた。彼女の感想があまりに素晴らしいので、ある雑誌にそれを手直しして投稿したほどである。(私の名前で)

また、今も続いている潜りの仲間達(阿木、鈴木(豊)、塩崎、藤岡、加藤(哲)、家本、鈴木(民))とグアム島に遠征ダイブをした時、宿泊先のホテルのプールで出会った美人スチュワーデス達の、ウォークマン試聴後のうっとり感。行きずりのアバンチュールの小道具としての劇的な効果。

大滝詠一にとっては、サリンジャーの「ライ麦畑でつかまえて」に匹敵する作品。(大滝詠一にはサリンジャーと違って他にも傑作はあるが)そして、都会派天才詩人、松本隆も、この時代に、最も突き刺すようなエネルギーを内包した表現力があったのではないかと。

いずれにしても、この作品はJ-POP史上稀にみる「巨星」である。音楽はこうに、あくまでもカッコ良く、セクシーなモノが一番であろう。人に色気がなくなる限りの、この作品の眩しさは、その輝きを永遠に失わないと思う。

Monthly Production Report

2011年2月度レコード生産実績

2月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 113% の 2,492 万枚・巻、金額で同 110% の 279 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 107% の 1,961 万枚・巻、金額で同 103% の 223 億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比 143% の 531 万枚・巻、金額で同 152% の 56 億円となった。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			2月実績						2011年1月～2011年2月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シ	8cmCD	邦	5	0	68%	3	0	109%	7	0	61%	5	0	84%
		洋	0	0	-	0	0	-	5	0	5000%	1	0	809%
		計	5	0	68%	3	0	109%	12	0	103%	5	0	93%
ン	12cmCD	邦	5,488	28	157%	3,506	16	136%	9,439	29	146%	6,255	18	132%
		洋	36	0	1779%	26	0	1479%	89	0	607%	63	0	507%
		計	5,524	28	157%	3,531	16	137%	9,529	29	147%	6,318	18	132%
グ	小計	邦	5,493	28	156%	3,509	16	136%	9,447	29	146%	6,259	18	131%
		洋	36	0	1779%	26	0	1479%	94	0	637%	63	0	508%
		計	5,529	28	157%	3,535	16	137%	9,541	29	147%	6,323	19	132%
ル	12cmCD アルバム	邦	10,941	56	93%	15,683	70	98%	16,795	52	83%	22,008	64	85%
		洋	2,889	15	107%	2,834	13	101%	5,557	17	104%	5,294	15	97%
		計	13,830	71	96%	18,517	83	98%	22,352	69	88%	27,302	80	87%
CD 合計		邦	16,434	84	108%	19,192	86	103%	26,241	81	99%	28,267	83	92%
		洋	2,924	15	108%	2,860	13	102%	5,651	17	106%	5,358	16	98%
		計	19,359	99	108%	22,052	99	103%	31,893	98	100%	33,625	98	93%
アナログ ディスク		邦	14	0	-	19	0	-	25	0	257%	36	0	227%
		洋	2	0	339%	1	0	109%	6	0	233%	6	0	144%
		計	16	0	2651%	20	0	1498%	31	0	252%	42	0	209%
カセット テープ		邦	193	1	68%	159	1	70%	432	1	83%	349	1	82%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
		計	193	1	68%	159	1	70%	432	1	83%	349	1	82%
その他		邦	13	0	79%	8	0	61%	18	0	70%	15	0	61%
		洋	33	0	179%	71	0	250%	62	0	209%	136	0	317%
		計	46	0	133%	79	0	193%	80	0	145%	152	0	223%
合 計		邦	16,654	85	107%	19,377	87	103%	26,716	82	98%	28,666	84	92%
		洋	2,959	15	108%	2,933	13	104%	5,719	18	106%	5,501	16	100%
		計	19,614	100	107%	22,310	100	103%	32,435	100	100%	34,167	100	93%

● 音楽ビデオ

		2月実績						2011年1月～2011年2月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	4,431	83	131%	4,206	76	133%	8,033	88	120%	9,760	84	156%
	洋	806	15	283%	1,065	19	306%	1,032	11	178%	1,432	12	230%
	計	5,238	99	143%	5,272	95	150%	9,065	99	124%	11,192	97	163%
テープ・その他		71	1	169%	297	5	204%	90	1	129%	375	3	159%
合 計	邦	4,497	85	131%	4,486	81	136%	8,109	89	120%	10,086	87	156%
	洋	812	15	280%	1,083	19	298%	1,046	11	178%	1,481	13	226%
	計	5,309	100	143%	5,569	100	152%	9,155	100	125%	11,567	100	163%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			2月実績						2011年1月～2011年2月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			19,614	79	107%	22,310	80	103%	32,435	78	100%	34,167	75	93%
音楽ビデオ			5,309	21	143%	5,569	20	152%	9,155	22	125%	11,567	25	163%
合 計			24,922	100	113%	27,879	100	110%	41,589	100	104%	45,734	100	105%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			2月実績						2011年1月～2011年2月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD			10,533	94	132%	13,416	87	112%	18,791	92	129%	36,863	87	164%
テープ・その他			619	6	91%	1,941	13	102%	1,613	8	152%	5,283	13	164%
合 計			11,152	100	129%	15,357	100	111%	20,404	100	131%	42,147	100	164%

● オーディオ/ビデオ合計

			2月実績						2011年1月～2011年2月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			19,614	64	107%	22,310	59	103%	32,435	61	100%	34,167	45	93%
ビ デ オ			11,152	36	129%	15,357	41	111%	20,404	39	131%	42,147	55	164%
合 計			30,766	100	114%	37,666	100	106%	52,839	100	110%	76,314	100	123%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● プラチナ

まともI	aiko	2011.02.23	PC
まともII	aiko	2011.02.23	PC
MUSICMAN	桑田 佳祐	2011.02.23	V

● ゴールド

dead stock	シド	2011.02.23	KS
あの・夢もてますケド。	遊助	2011.02.02	SR
2-NI-	ゆず	2011.02.16	SN

シングル

● ミリオン

桜の木になろう	AKB48	2011.02.16	K
---------	-------	------------	---

● トリプル・プラチナ

ポニーテールとシュシュ	AKB48	2010.05.26	K
-------------	-------	------------	---

● ダブル・プラチナ

Lotus	嵐	2011.02.23	JA
-------	---	------------	----

● プラチナ

Dear J	板野 友美	2011.01.26	K
ULTIMATE WHEELS	KAT-TUN	2011.02.02	JA

● ゴールド

大声ダイヤモンド	AKB48	2008.10.22	K
Each Other's Way ～旅の途中～	EXILE	2011.02.09	AMI
Blue Bird	コブクロ	2011.02.16	WJ
青いベンチ	テゴマス	2011.02.16	JE
Distance	西野 カナ	2011.02.09	SE
友達の唄	BUMP OF CHICKEN	2011.02.23	TF
あの娘と野菊と渡し舟	氷川 きよし	2011.02.02	C
狭心症	RADWIMPS	2011.02.09	EMI

洋楽

アルバム

● ゴールド

ザ・ビギニング	ブラック・アイド・ピーズ	2010.11.30	UM
---------	--------------	------------	----

ビデオ

● ゴールド

KARA BEST CLIP	KARA	2011.02.23	UM
----------------	------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム) 共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AI:** ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / **AMI:** エイベックス・マーケティング / **C:** 日本コロムビア / **CR:** 日本クラウン / **DF:** デフスターレコーズ / **EMI:** EMI ミュージック・ジャパン / **ES:** EPIC レコードジャパン / **JA:** ジェイ・ストーム / **JE:** ジャニーズ・エンタテイメント / **K:** キングレコード / **KS:** キューンレコード / **PC:** ポニーキャニオン / **SE:** エスエムイーレコーズ / **SN:** SENHA & CO. / **SR:** ソニー・ミュージックレコーズ / **TF:** トイズファクトリー / **UM:** ユニバーサルミュージック / **V:** ビクターエンタテインメント / **WJ:** ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● 3ミリオン

Story	AI	2005.04.18	UM
-------	----	------------	----

● ミリオン

君って	西野 カナ	2010.10.06	SE
-----	-------	------------	----

● トリプル・プラチナ

Pure	EXILE	2008.02.13	AMI
Together When...	浜崎 あゆみ	2007.11.28	AMI

● ダブル・プラチナ

まねきねこダックの歌	たつやくんとマユミーヌ	2009.10.07	CR
------------	-------------	------------	----

洋楽

● ダブル・プラチナ

ジャンピン	KARA	2010.10.25	UM
-------	------	------------	----

「着うたフル®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

ありがとう	いきものがかり	2010.05.12	ES
-------	---------	------------	----

● ダブル・プラチナ

トイレの神様	植村 花菜	2010.07.14	K
I Believe	EXILE	2007.11.07	AMI
会いたかった	AKB48	2007.02.08	DF
ブラネタリウム	大塚 愛	2005.09.14	AMI
Hello, Again ～昔からある場所～	JUJU	2010.06.23	AI

● プラチナ

浪漫飛行	米米 CLUB	2005.10.19	SR
Distance	西野 カナ	2011.02.02	SE

● ゴールド

Dear J	板野 友美	2011.01.19	K
Each Other's Way ～旅の途中～	EXILE	2011.02.02	AMI
Why? (Keep Your Head Down)	東方神起	2011.01.26	AMI
ありったけの Love Song	ナオト・インティライミ	2010.09.22	UM
Love song	浜崎 あゆみ	2010.12.22	AMI
Virgin Road	浜崎 あゆみ	2010.09.29	AMI
星間飛行	ランカ・リー＝中島 愛	2008.06.25	V

洋楽

● ゴールド

君の瞳に恋してる	ボーイズ・タウン・ギャング	2005.07.27	V
----------	---------------	------------	---

「PC 配信(シングル)」

邦楽

● プラチナ

ポニーテールとシュシュ	AKB48	2010.05.26	K
-------------	-------	------------	---

● ゴールド

もう一度...feat.BENI	童子-T	2008.06.11	UM
------------------	------	------------	----

洋楽

● プラチナ

ミスター	KARA	2010.07.28	UM
ポーカー・フェイス	レディー・ガガ	2009.05.20	UM

● ゴールド

ビコーズ・オブ・ユー	Ne-Yo	2007.04.30	UM
------------	-------	------------	----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

「音楽創造のサイクル」や「著作権」がいかに大切かということの周知を目的とした、著作権啓発キャンペーン『LOVE MUSIC』の特設サイト内での「MUSIC LOVER'S 私の一枚」のコーナーでは、様々な分野でご活躍中の50名を超える著名人の方々から、ご自身が最も大切にする一枚（レコード、CD）と、それにまつわるエピソードをお寄せいただいております。キャンペーンがスタートした2010年12月17日より順次紹介していますが、この度、森永卓郎さん、古家正亨さん、FROGMANさん、浦沢直樹さん、三木谷浩史さん、辛酸なめ子さん、吉瀬美智子さん（掲載順）の大切な一枚をアップしました。今後も順次掲載していきますので、ご期待下さい。



■ 特設キャンペーンサイトURL

パソコン

http://www.riaj.or.jp/lovemusic_cpn/

携帯

http://www.rom-m.jp/lovemusic_cpn/

THE RECORD No.617 2011年4月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 水村 雅博
発行日 2011年4月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

被災された方々、その家族の方々の計り知れない悲しみや不安感を思うと、胸が痛みます。

被災地には全国からさまざまな支援の手が差し伸べられていますが、音楽業界でもアーティストを始め、募金やチャリティ企画などさまざまな活動が行なわれています。

このような過酷な状況の中で、必ずしも音楽が不可欠なものであるとはいいきれませんが、今後、復興への道のりの中で、音楽が人々の心に寄り添い、力の源になる存在となってくれと信じております。

被災地の皆様のご健康と一日も早い復興をお祈り申し上げます。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。